

クオンティフェロン(QFT-2G)のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、標記項目につきましては、IFN- γ 濃度も添えて報告させていただきます。また、ヘパリン加採血管 10mL 容器の方が検体量の確認が容易であるとの多施設からの要請により、今後はヘパリン加採血管 10mL 容器を提供させていただきますので、取り急ぎご案内申し上げます。

先生方には大変ご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

項目【3035】 クオンティフェロン (QFT-2G) 追加報告

IFN- γ E = 刺激抗原 E 添加検体の IFN- γ 濃度 (IU/mL)

IFN- γ C = 刺激抗原 C 添加検体の IFN- γ 濃度 (IU/mL)

IFN- γ M = 陽性コントロール添加検体の IFN- γ 濃度 (IU/mL)

IFN- γ N = 陰性コントロール添加検体の IFN- γ 濃度 (IU/mL)

* 上記 4 つの各 IFN- γ 濃度 (IU/mL) を添えて報告させていただきます。

受付日

● 平成 20 年 12 月 1 日(月)受付分より

〈保険収載名称〉

結核菌特異蛋白刺激性遊離インターフェロン- γ 測定

〈総合検査のご案内〉

P93 参照願います

裏面もご覧下さい。



札幌臨床検査センター 株式会社
SAPPORO CLINICAL LABORATORY INC.

測定結果の判定 (陽性・判定保留・陰性・判定不可の4種類)

測定値 E または C	判定	解釈
0.35 IU/mL 以上	陽性	結核感染を疑う
0.1 IU/mL ~ 0.35 IU/mL 未満	判定保留	感染リスクの度合いを考慮し、総合的に判断する
0.1 IU/mL 未満	陰性	結核感染していない

判定不可 測定値 E および測定値 C が共に 0.35 IU/mL 未満であっても、測定値 M が 0.5IU/mL 未満の場合は「判定不可」となりますのでご注意ください。

検査成績(見本)

判定	(-)	
IFN- γ N	0.04	IU/mL
IFN- γ E	0.05	IU/mL
IFN- γ C	0.05	IU/mL
IFN- γ M	10.03	IU/mL
測定値 E	0.01	IU/mL
測定値 C	0.01	IU/mL
測定値 M	9.99	IU/mL

検体の IFN- γ 濃度は、下記の示した計算式で各症例を計算する。各検体の測定値は、測定値 E と測定値 C のうちの高値を選択する。

$$\text{測定値 E (IU/mL)} = \text{IFN-}\gamma \text{ E}^{\text{注1)}} - \text{IFN-}\gamma \text{ N}^{\text{注4)}}$$

$$\text{測定値 C (IU/mL)} = \text{IFN-}\gamma \text{ C}^{\text{注2)}} - \text{IFN-}\gamma \text{ N}^{\text{注4)}}$$

$$\text{測定値 M (IU/mL)} = \text{IFN-}\gamma \text{ M}^{\text{注3)}} - \text{IFN-}\gamma \text{ N}^{\text{注4)}}$$

注 1) IFN- γ E = 刺激抗原 E 添加検体の IFN- γ 濃度 (IU/mL)

注 2) IFN- γ C = 刺激抗原 C 添加検体の IFN- γ 濃度 (IU/mL)

注 3) IFN- γ M = 陽性コントロール添加検体の IFN- γ 濃度 (IU/mL)

注 4) IFN- γ N = 陰性コントロール添加検体の IFN- γ 濃度 (IU/mL)